

## 地球惑星科学委員会 IUGS 分科会 ICS 小委員会 (第22期・第2回) 議事録 (案)

日時：平成26年4月29日 (火) 16:00~17:45

会場：パシフィコ横浜国際センター213号室 (横浜市西区みなとみらい1-1-1)

出席者：北里 洋, 齋藤文紀, 西 弘嗣, 松岡 篤, 川辺文久

欠席者：上野勝美, 江崎洋一, 佐藤時幸

### 議題

1. 第1回議事録案を承認した。

2. ICS subcommission (小委員会) の状況

現時点で日本人委員 (voting member) がいることが確認される年代別小委員会は、ペルム系 (上野勝美)、三畳系 (相田吉昭)、ジュラ系 (松岡 篤)、白亜系 (川辺文久、長谷川卓)、新第三系 (西 弘嗣) である。なお、Subcommission on Stratigraphic Classificationでは、長谷川四郎、天野一男、高柳洋吉の各氏が委員 (voting member) となっている。

3. 中部更新統GSSPの調査状況

Springer発行のSTRATI2013特集に、「Kazaoka, O., Nirei, H., Aida, N., Kumai, H., Head, M. J. and Pillans, B., A potential Lower-Middle Pleistocene GSSP with excellent magnetostratigraphy along the west Pacific margin: the Chiba section, central Japan (p. 257-260)」が掲載された。

Quaternary International (以下QI) 誌のSTRATI2013特集号に、上総層群、特に国本層および下部・中部更新統境界に関する既存研究をとりまとめて投稿中である「Kazaoka, O., Suganuma, Y., Okada, M., Kameo, K., Head, M. J., Yoshida, T., Kameyama, S., Nirei, H., Aida, N., and Kumai, H., Stratigraphy of the Kazusa Group, Chiba Peninsula, Central Japan: an expanded and highly-resolved marine sedimentary record from the Lower and Middle Pleistocene」。この他に、2014年7月末原稿〆切のQI日本特集号に、風岡 修氏らによって国本層の下部・中部更新統境界付近の堆積学的な論文が、また兵頭政幸氏らによって古地磁気・岩相・地化・生層序の論文が準備中である (資料②を参照)。

GSSP候補となるには、堆積相の記載に加えて、当該露頭における古地磁気、酸素同位体比と生層序学的データを2015年夏までに整備し、国際学術誌から公表することが必要である。研究者間での情報共有と、論文投稿に向けての体制を再度関係者間で確認するよう促す事になった。

4. IUGS理事会 (2014年2月@ゴア) 報告

北里委員長と小川勇二郎氏が参加した (資料③を参照)。

社会に貢献する地球科学を推進するために地質科学国際研究計画 (IGCP) にジオパーク運動を含める方向である。ユネスコとの関わり方が懸案となっている。

国際科学会議（ICSU）が主導する「Future Earth」への地質科学コミュニティの積極的関与が望まれている。

## 5. その他

面談方式で行う第 22 期 ICS 小委員会はこれで終了する。意見集約が必要な場合には、メールベースで議論することにする。

### 配布資料

- ・ 第 1 回議事録案 ←資料①
- ・ 中部更新統基底に関する養老セクションの現状報告（岡田 誠氏提供）←資料②
- ・ IUGS 第 67 回理事会（2014 年 2 月@ゴア）報告（小川勇二郎氏作成）←資料③
- ・ STRATI 2015 First Circular ←参考資料

以上